

めでいかすとる
Médicastre



「 中山河川公園の桜 」

鶴岡地区医療学術懇話会抄録

日時：平成27年3月27日(金) 19:15～

場所：東京第一ホテル鶴岡 2階「鶴の間」



『 EPA/DHAと生活習慣病

～ω3系多価不飽和脂肪酸による脂質・免疫・炎症への影響～ 』

東邦大学医療センター佐倉病院糖尿病内分泌代謝センター

教授 龍野 一郎 先生

北極圏に住む先住民族であるイヌイット（エスキモー）人は以前から心筋梗塞などの生活習慣病の発症が少ないことが知られており、1971年にデンマークの疫学者ダイエルベルグとバングによって魚油の主成分であるオメガ3系多価不飽和脂肪酸（EPA・DHA）の摂取の多い事が原因であると報告された（Lancet 1:1143-1145, 1971）。

さて、日本人は魚食の好きな代表的民族だが、日本人の健康に魚油は役立っているのだろうか？ その問いに対する初めての疫学調査は千葉県で勝浦市川津の漁民と柏市藤心に在住する農民を比較する事によって行われた。その調査の中で漁民は農民に比べて魚の摂取量が3倍も多く（EPAとして平均2.6g/day）、中性脂肪の値がほぼ半減していた。そして心血管疾患・脳血管障害の発症率がいずれも有意に低いことが明らかにされた（Lancet 2:1132, 1980）。この研究はその後数年にわたって行われ、カツオ漁の不良な年には漁民のEPAの摂取量が低下して、それにつれて心血管の発症率が増加することもわかった。このような研究を基に日本では高純度EPA製剤が作られ、1990年に閉塞性動脈硬化症の適応で、その後高脂血症の適応が追加された。

生活習慣病と深くかかわるオメガ3系多価不飽和脂肪酸（EPA・DHA）はどのように働いているのだろうか？ 中性脂肪低下に代表される脂質代謝プロファイルの改善作用は有名であるが、加えて抗炎症作用が注目を集めてきた。多価不飽和脂肪酸は細胞膜に取り込まれて、膜の流動性などを変えるだけでなく、取り込まれた多価不飽和脂肪酸は膜から切り出され、アラキドン酸カスケードに乗って生理活性物質に代わって作用している。魚油の研究が始まった1970年代はアラキドン酸カスケード研究が盛んで、その代謝産物である様々なプロスタグランジンが分離同定された。このアラキドン酸カスケードでEPAはアラキドン酸と同様に代謝されるが、そのできた生理活性物質の作用は一般

に弱い、加えてオメガ3多価不飽和脂肪酸が細胞膜への取り込まれることによって細胞膜のアラキドン酸が減少し、効力の強い生理活性物質の産生が相対的に減少する。これらの結果として血小板凝集・炎症・免疫反応が抑制されると考えられている。

では、DHAは何をしているのだろうか？ オメガ3系多価不飽和脂肪酸の研究過程においてDHAはアラキドン酸カスケードで代謝されない物質と考えられ、これまであまり重要視されてこなかった。ところが最近の科学の進歩はその常識を覆しつつある。ハーバード大学のグループはオメガ3系多価不飽和脂肪酸から新たな代謝産物（リソルビン・プロテクチンなど）が生成されることを発見し（J Exp Med. 196:1025, 2002）、しかもこれらの代謝産物が強力な抗炎症物質であることが証明された（Nature 461:1287, 2009）。

このような中、2013年1月に新たな魚油製剤ロトリガ（EPA/DHA製剤）が発売された。

ロトリガは日本人の高中性脂肪血症患者への治験においてロトリガ 2g 1日1回投与で従来のEPA製剤1800mg 1日3回投与と同等の中性脂肪低下効果が証明された（J Clin Lipidol 7(3):199, 2013）。心配されたDHA投与によるLDLコレステロールの増加作用はなく、リポ蛋白プロファイルではsmall dense LDLを減少させ、大型のLDL粒子を増加させるなど良好な脂質代謝作用が認められ、新たな治療薬として一步を歩みだした。最近、メタボリック症候群の腎硬化の発症がマウスモデルを使ってロトリガの投与によって抑制され、その作用がロトリガに含まれるDHAから産生された抗炎症性脂質メディエーターによることが示唆されている（Molecules, 17, 19(3), 3247-63, 2014.）。

このように魚油の研究が始まってわずか40年、科学の進歩は多価不飽和脂肪酸の研究に光を与え続け、魚油オメガ3多価不飽和脂肪酸が生体の恒常性、そして健康維持に重要な役割を担っている事が続々と明らかにされて来ている。

Introduction

勤 務 医

鶴岡市立荘内病院 外科 坂本 薫

2013年10月から、荘内病院・外科に勤務しております坂本薫と申します。研修医時代に荘内病院で大変お世話になり、この度ご縁があり、こちらに赴任することとなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

出身は東京都で、都立日比谷高校卒業後、1995年に山形大学に入学しました。山形に来て、東京よりもむしろ水が合い、2001年に大学を卒業後も山形に残り、2002年から1年間、荘内病院・外科で研修をさせていただきました。当時は旧病院の頃で、出来ない研修医にとっては、とてもハードな生活だったのですが、先生方、メディカルスタッフをはじめ、患者さんにも大変可愛がっていただき、非常に多くのことを経験させていただきました。また、若手の医師・スタッフも多く、毎晩みんなで飲みに行っては、飲み屋から病院に駆けつける（そしてまた飲み屋に帰って飲む）という充実した？生活を送り、私にとってはとても思い出に残る病院・地域でした。

その後、2003年から新潟大学第一外科に入局し、主に上部消化管（食道癌、胃癌）中心に10年間、新潟で外科の修行をしておりました。この度、恩師である三科先生が荘内病院の院長に就任され、荘内に来ないかと声を掛けていただき、赴任の形で戻って来た次第です。

趣味などの自己紹介をさせていただきますと、スポーツ、特に柔道（格闘技）と野球が好きです。野球は草野球程度（+ジャイアンツファン）ですが、柔道は少年時代に講道館という所で始めて、高校、大学でも続け、現在、三段を持っております。医師になってからはなかなか道場に通うことが出来ないのですが、今は6歳の息子と『戦いごっこ』という名の柔道（総合格闘技？）を毎晩繰り広げています。他にも歴史関係、お城巡りや歴史小説を読むのが好きで、庄内の歴史もリスペクトしています。特に幕末の庄内藩の働き、強さは特筆すべきもので、個人的には幕末最強は佐賀藩と庄内藩だと思っているのですが、世の中にほとんど知られていないのが残念です（涙）。庄内・山形のグルメ、温泉も楽しみで、時間があれば妻・息子とあちこちに出掛けています。

さて、こちらに赴任して1年以上経ちましたが、昔に比べて荘内病院の元気のなさが気になっております。私の中にはまだ、その原因についても、どうしたら良いかについても明確な答えがありません。ですが、日々の診療を通して、感じ、考え、答えを探して行きたいと思っております。そして、山形で学び、新潟で修行した経験を生かし、少しでも荘内病院の、庄内の医療にお役にたてたらと存じます。医師としても人間としても未熟者ではありますが、精一杯頑張りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



県立こころの医療センターが開院しました

山形県立こころの医療センター
院長 神田 秀人

皆様のご支援、ご協力により「県立こころの医療センター」が、3月9日に開院いたしました。

開院に先立つ3月1日の開院式典には、鶴岡地区医師会三原会長をはじめ、県内外から多くの方々のご臨席を賜りご祝福を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

また、開院式典後に実施しました一般の方々を対象とした内覧会には、市内外から1,200人を超える見学者があり、当センターに対する関心の高さを実感したところです。

さて、こころの医療センターの前身となる鶴岡病院は昭和27年、「県立療養所金峰園」として鶴岡市黄金地区の高坂地内に開院し、昭和39年に鶴岡病院に改称しました。鶴岡病院の施設のほとんどは昭和40年代に整備されたもので、老朽化が進んでおり、また、開院当時は統合失調症や躁うつ病などの精神病の入院治療が主体でしたが、近年はストレスに起因したうつ病、不登校や発達障害などの子どものこころの病、また高齢社会を反映した認知症など、精神科医療に求められるニーズが多様化してきました。

このため、平成19年度に多様な精神疾患への対応を視野に入れた「県立鶴岡病院改築整備基本計画」を策定。従来の隔離・収容型から増加傾向にあるストレスに関する心の病にも対応する敷居の低いメンタルヘルス型の精神科病院への移行を目的に移転改築を決定しました。移転場所は鶴岡市市街化区域の北部に位置し、外来患者の通院の利便性を高めることのできる、国道7号と国道112号に近い茅原地区を選びました。

こころの医療センターは敷地面積約3.2ヘクタールで、建物は耐震構造の鉄筋コンクリート造り地上3階・地下1階建て、延べ床面積約15,000平方メートル。用地取得・造成費を含む総事業費は約72億円。診療科目は精神

科、心療内科、児童・思春期精神科。外来診察は、一般外来の他、予約制で「こども・思春期外来」を開設しております。入院病棟は、重症患者を集中的に治療する「スーパー救急病棟」(48床)、「社会復帰病棟」(50床)、「慢性期病棟」(50床)、思春期の児童・生徒やうつ病患者に対応する「子ども・ストレスケア病棟」(48床)、心神喪失などで罪を問えないが治療により社会復帰が可能な患者の入院治療を行う「医療観察法病棟」(17床)で、5病棟213床となっております。

特に、子ども・ストレスケア病棟内の「子どもユニット」には入院する児童生徒を対象とした院内学級(県立鶴岡養護学校の「おひさま分教室」)が設置されました。県立鶴岡養護学校の分教室として小学部と中学部を置き、病棟内に3教室と職員室を配置。病弱特別支援学校として位置付け小中学校の義務教育とほぼ同じ教育課程となっております。院内学級を併設する精神科の専門病棟は、東北では仙台市の東北福祉大せんだんホスピタルに次いで2カ所目となります。

また、当センターでは、新病院への移行を視野に平成20年度から、精神科に関する認定看護師の養成に力を入れ、現在、認定看護管理者1名、うつ病看護、行動制限最小化看護、精神科訪問看護、児童・思春期精神科看護、司法精神看護、精神科薬物看護、身体合併症看護、皮膚・排泄ケアの8名が認定看護師の資格を持ち、今年度は新たに、摂食嚥下障害看護、認知症看護の2名の資格取得が見込まれ、また、感染管理が5月から半年間の教育課程で研修予定となっております。さらに、精神看護の専門看護師を取得するため昨年度から大学院に1名派遣しており、当センターにおける看護力の充実が期待されます。今後は、認定看護師の資格取得者を含めた形で全体のケア能力を高め、多職

種が患者に関わるチーム医療を強化してまいりたいと考えております。

以上のように当センターは、県内唯一の公立精神科単科病院として政策的医療を進め、県内

精神科医療の中核を担ってまいります。

鶴岡地区医師会をはじめ、皆様のご協力のもと、ご期待にそえるよう職員一同がんばってまいりますので、よろしくご支援くださいますようお願いいたします。



外 観



病 室



体 育 館



分教室 廊下

教室や廊下の腰壁に県産材の“あつみスギ”を使用しています。木材が持つやさしい雰囲気が、教室の中の空気を和らげ、良好な学習環境に結び付けばと考えています。



診察室 5 の照明

診察室 5 の照明に有機ELを導入。(山形県が取り組んでいる先端的プロジェクト)

有機EL照明は太陽光に近いやさしい光が特徴です。初めて受診する患者を診察する部屋にやさしい光の照明を導入することで、不安感などを少しでも和らげることができればと期待しています。

ほたる主催市民公開講座

日時：平成27年3月22日(日) 13：30～
場所：グランド エル・サン

「認知症を正しく知ろう！」 ～住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～

地域医療連携室ほたる 遠藤 貴恵

地域医療連携室ほたるでは、鶴岡市地域包括支援センターとの共催で、昨年引き続き「認知症を正しく知ろう！～住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～」のテーマのもと3月22日（日）の午後、グランドエル・サン クリスタルホールを会場に公開講座を開催し、196名の皆様にご来場いただき盛会裏に終了することが出来ました。



○第1部

最初に、地域医師の講演として中目千之先生より「認知症を理解し、ともに歩もう」とのテーマで、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、脳血管性認知症、ピック病の4つのタイプの認知症について実際の症例を用い、かかりつけ医の目線でわかりやすくご講演いただきました。とくに、認知症への意識を変えるということをお伝えするにあたり9つのポイントをお話いただきました。



- ①認知症は誰でもかかるよくある病気。恥じることも、隠すこともない。
- ②認知症の中には、薬剤過敏性を示すレビー小体型認知症があり、常用量では副作用が出現し、少量の薬で効果が出る認知症もある。
- ③認知症は一人ひとりみんな違う。テーラーメイドの治療が要求される。
- ④認知症は経過中に大きく変化するので、そのたびに薬を変えていく。また、薬の蓄積作用による過鎮静がしばしば起きる。
- ⑤認知症の人が急に具合が悪くなったら、まず脱水を考える。点滴で治る。いきなり頭の検査ではない。
- ⑥認知症の人は、自分がもの忘れをしたり、以前とくらべ、物事が出来なくなったという自覚を持っている。そしてそれを不安に感じている。
- ⑦認知症の人のとる行動には、全て意味がある。徘徊にも意味がある。
- ⑧認知症の予防は、軽度認知障害の段階から始めよう。基本は歩きながらしりとりや引き算をする。
- ⑨認知症は新しい学問であり、予防や治療は、まだ試行錯誤の状態にある。

中目先生ご自身の診療の経験談をいつもの通りユーモアを交えてお話しいただき会場内は最初から最後まで笑いの渦に包まれ、参加された皆様にも大変好評でありました。



その後、鶴岡市認知症地域支援主任の上野峰さんより、相談窓口である各地域包括支援センターおよびもの忘れ相談医についてアナウンスしていただき、住民の皆様にご理解いただいたところです。

○第2部

第2部では特別講演として、公益社団法人認知症の人と家族の会山形県支部会員であり、鶴岡市在住の鷺田良平さん【愛称：わっしー】にご講演いただきました。鷺田さんは、平成20年に2人暮らしをしていたお母さん「わっしーママ」が認知症と診断され、それはそれは大変な介護経験をお持ちの方で「認知症の人と家族の会」および「鶴岡市地域包括支援センター」を通じご紹介いただきお声を掛けたところ、「自分の体験で良ければ」と快くお引き受け下さいました。奇しくもこの公開講座の3月22日はお母さんの81回目の誕生日だそうです。

お母さんが認知症になったとき、そして症状が進んでいく過程の中で、自身が認知症を受け入れていく葛藤や、認知症の人と家族の会へ参加しての感想も含め、向き合う家族の思い、私たちでは図り知れないほどの経験をこちらもまたユーモラスにお話しくださいました。特に、鷺田さん自身が鉄道好きで思い出づくりのためにもお二人で全国各地に鉄道の旅に出かけられたそうです。もし旅先の知らない土地でお母さんがどこかにフラッといなくなってしまうたらとの心配もあり、万が一の時でもわかりやすいようにと、乗車する列車と同じような色合いの洋服を着せた「コーデ鉄」をし、列車の先頭車両と一緒に写真を撮り、ご自身のブログに投稿しておりました。お母さんとの思い出を記録に残すととともに、認知症を隠さず公表することで、もしお母さんがどこかへ外出したまま家に戻らないときにブログを見ている人が声をかけてくれるかも知れないとの思いで、はじめられたそうです。

最後に鷺田さんは「介護には、どれが正解だということではなく、毎日の介護が大変で辛い。そんなときは一人で悩まずに相談したり、同じような体験をしている方々のお話を聞くことで思いを共有し、自分のやり方を見直したりすることもできたし、逆にいろいろな介護の方法や付き合い方を知ることができた。地域の皆様にもこれを機に認知症を認めてもらいたいし、受け入れていくことが大事だと思う。自分は母が認知症になったことがきっかけで優しく接することができた。たくさんのお話をありがとうございました。」と締めくくられました。



○最後に

昨年と同じテーマで開催した2回目の公開講座でしたが、認知症について地域住民が正しい知識を持つことで病気を理解し、地域全体で認知症支援をしていくということは永遠のテーマだと改めて感じているところです。講師の皆様方、また鶴岡市包括支援センター連絡会の皆様方にこの場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

鷺田良平さんのブログ「わっしーでーす」 ぜひご覧ください。

特別寄稿

地霊の生みし人々 — 聖医 林 信雄（上）—

黒羽根整形外科 黒羽根 洋司

ドイツ・ヴェルツブルグ大学のレントゲン教授が、19世紀最大の発見といわれるX線を初めて見たのは1895年11月8日、金曜日の夕方であった。X線は肉眼では見えないから、正確にはX線による蛍光を見たというべきだろう。いずれにせよ、この時から医学も工学も大きく変わり、X線は人々に計り知れない恩恵を与えてきた。

歴史的な日から、ほぼ1年半後、X線の臨床応用に生涯をささげた一人の医師が鶴岡に生まれた。おのれの職責を全うするという強固な意志をもち、清廉で無私な生涯を貫いたこの人・林信雄を、後年人々は「聖医」と呼んだ。被爆障害で両手指を失いながら、慈悲深い千手観音のようであったと讃えられた林信雄の一生をたどれば、私たちが師表とすべき一人の日本人の清々しい姿がみえてくる。

— 出生とその環境 —

林信雄は1897（明治30）年4月8日、鶴岡市新士町（現・神明町）に生まれた。母を5歳の時に亡くし、父とは小学校6年の時に死別したため、孤独の境遇にあって成人する林だが、彼の終生揺るがぬ姿勢の源は環境と血脈にあった。人間林信雄とその博愛、利他の精神の根幹をなす二つについて語ってみよう。

まずは環境である。

林信雄出生の地近くに、学問の神として菅原道真を祀り庄内一円の崇拝をあつめる鶴岡天満宮がある。編み笠をかぶって顔を隠し、街頭で酒をふるまう、別名“化けもの祭り”と呼ばれる奇祭・天神祭りは、ここの例大祭である。神宿る杉木立が発する霊気は、彼に見えざるものへの畏怖をはぐくんだ。

さらに、信雄が生まれた茅ぶきの家は、天保時代の篤志家、鈴木今右衛門の住家であった。



エックス線の臨床応用に生涯をささげた林信雄
（「医聖・林信雄伝」より）

天明の大飢饉で飢えた窮民が庄内に流れ込んだ時、一家を挙げて挺身した美談は、後に小学校の国定教科書（修身）に紹介され、全国に知れるところとなる。信雄が備えたいくつもの美質の苗床は、史跡として保存されるほどの由緒ある旧家の中にあった。

聡明で気品のある信雄少年を、近所の人たちは“天神はんの申し子”と称していたという。今右衛門の事績を幼いころから聞かされて育った“双葉”は、こうした環境を得て芳しい“梅檀”^{せん}となっていくのも自然なことであった。

次に、林家の系譜から信雄の背景を眺めてみる。

母の竹以は藤島町（現在の鶴岡市藤島）で町長を務めた山本清一郎の妹であった。清一郎の三男、つまり信雄と従兄弟の間柄になる山本善雄は、元海軍少将で旧海軍省の事務局長の要職に在って、日本海軍部内でも至宝と称された俊才である。

信雄とは血縁関係はないが、祖母にあたる人は高山家から林家に嫁し、明治の文豪として名高い高山樗牛とは叔母、甥の関係になる。

記録によれば、林家は三河吉田城（現在の岡崎市）で、足軽百人組の組頭として召し抱えられた林作左衛門を祖とする。その後酒井家に従って転々しながら分家を重ね、信雄の系譜は九左衛門が初代となる。十代目にあたる信雄までの系譜を概観すれば、秀才と呼ばれた人々を輩出している反面、早世する者も多い。身もたえするほどの多量の仁で生きる信雄に、どこか哀切さがつきまとうのは、そのような血脈にも由来するのかもしれない。

いずれにせよ、環境に加えて、才ある人々から受け継ぐ資質が信雄の人格を醸成していったことは疑いようもない。

一 庄内中学校から出郷、千葉医専へ

信雄は鶴岡町立朝暘第二尋常小学校の六年から直ちに山形県立庄内中学校（現・鶴岡南高校）に進学する。中学に進む場合、高等科で勉強をしてからというのが普通であった当時からすれば、彼の成績がいかに抜群であったかがわかる。

弊衣破帽で気力旺盛を誇る庄内中学校にあって、信雄は比較的小となしい生徒であったようだ。彼が中学に通っていた頃は、すでに両親とは死別し、祖母の愛護を受けて不自由なく成育した。その祖母も信雄の成人を見ないで死亡してしまい、中学校を卒業する時には、全くの天涯孤独の身になった。たとえ、伯父の山本清一郎の許に引きとられたにしても、一生の運命を決定するような重大な問題は、彼自身で決めなければならなかった。

当時の林家は、田畑数町歩も所有し作男を雇って耕作させていたから、食うには困らないだけの収入があった。それゆえ、もし信雄が小成に甘んじて安易な生活を選ぶとすれば、何も好んで郷里を離れる要はなく、一生安穩に暮らせたはずである。しかるに、彼は自ら進んで医家を志して、断乎として己の信ずる道を踏み出したのである。

医学を志した信雄の原点を語る逸話が残っている。

小学生の信雄にある人が「大きくなったら軍人になるのか、お役人になるのか」と聞いた。当時この二つは立身出世の代名詞であったからである。ところが信雄は「医者になって体の悪い人を丈夫にしてあげたい」と答えたという。幼くして死を見つめてきた人間の言葉としては納得がいくが、初志を貫く信雄の闘志たるや並大抵でない。青少年期に、人生最大の悲哀である肉親の死別に遭い、その試練に耐えてきた信雄がたどり着いたのが、医師になることであった。

林信雄が千葉医学専門学校の入学試験に、合格して家郷を離れたのは、1915（大正4）年9月、19歳のときである。家を明けるに際してとった留守対策も、いかにも彼らしく周到なものであった。長く住み馴れた生家を離れて他郷に出るときの感慨は、一度でも経験した人でなければ解らない。信雄はいっさいの始末を自分でつけ、单身勇んで進学の途についた。

一 医学生として

林信雄が医専の門をくぐった当時、校舎は亥の鼻台という、千葉市内で一番高い丘陵地帯にあった。医学生となった信雄は、幽すいな環境に囲まれた学窓で学究に励むことになったが、まず下宿を千葉村という村に定めた。彼は庄内の風習そのままに、風呂敷包みを首にかけて毎日徒歩で15分ぐらいかかる悪路をとおって学校に通った。

医専時代、同級であった高橋等氏は当時の林青年を次のように回想している。

「林君は、いつも微笑をたたえて談話し、非常に人あたりが柔らかな誰にも好感をもたれる人であった。口頭試問の際の印象でも、態度や応答ぶりに秀才の閃きが、はっきりと見てとれた」。

医学を叩き込まれた一人の学徒は、実践の場にやがて羽ばたこうとしていた。

故 島 大 先生のご冥福をお祈り申し上げます。

平成27年4月2日ご逝去 満91歳

弔 辞

島 大先生。先生は、新年度として世の中があわただしく動き出し、例年よりも暖かく桜のつぼみが今にも咲こうとしていた4月2日卒然と永眠されました。

先生は、体調を崩されてご療養中とお聞きしていましたが、余りにも突然なことであり、誠に残念でなりません。私ども会員一同、早く快復されることをお祈りしておりましたが、医療関係者の懸命な治療とご家族の看護もおよぼさず、本日ここにお別れしなければならないことになったことは、誠に哀悼の極みであります。

ご家族、ご親戚の方々におかれましても、お悲しみはいかばかりかと推察し、医師会会員並びに職員一同心からご冥福をお祈り申し上げます。

顧みまして先生の遺影をふり仰ぎますと、先生は福島県相馬市でお生まれになり、昭和22年に新潟医科大医学部をご卒業後、同年から福島県若松市国立若松病院にて修練なされ、昭和24年1月新潟大学医学部外科教室研究生、同年4月から同大学医学部眼科教室助手を経て同年6月からは同大学医学部文部教官として眼科教室に勤務されました。その後昭和28年9月には市立荘内病院に眼科医長として赴任され、約3年半同院で診療に当たられた後、昭和32年4月に鶴岡市本町二丁目に島眼科病院を開業されました。

以来、地域の眼科医として積極的に展開され、特に鶴岡地区の学校医として地域は旧籾引・羽黒地域まで数多くご担当され、約35年にわたる長い間、貢献されました。

このように先生の長きにわたるご活躍とご功績に対し、平成14年に山形県医師会から学校保健功労者として、また、平成16年には、山

形県学校保健連合会から学校保健功労者として、表彰状の授与が行われました。

この栄えある表彰は、地域の皆さんから長きにわたり信頼され、絶大な安心感を持たれ、地域医療、とりわけ学校保健活動において真摯に取り組まれてきた事を裏づける証しでもありますし、またそれは、ひとえに先生の温厚かつ極めて高潔なお人柄が認められた証しでもあると思います。

昭和63年には、黒澤明充先生・久子先生が昭和町に黒沢眼科病院を開業され、その後平成15年12月にはご息女、明子先生も島眼科病院に勤務されるなど、ご家族に囲まれての診療は、さぞ心強かったのではないかと推察いたします。

当会においては、平成16年から8年間、鶴岡地区医師会の裁定委員をご承引いただきました。その間、ご意見を賜ることもございましたが、先生からは的を得た、しかも心のこもったお言葉を頂戴いたしました。

先生からこれまで賜わってきたご指導・ご薫陶は、私どもの伝統として受け継がれるべきものと思います。ありがとうございました。

先生、どうぞ私どもを、今後とも見守ってください。

本日のお別れに際し、先生のご逝去を悼み、また生前の輝かしいご功績とご遺徳を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

島 大先生、どうぞやすらかにお眠りください。

平成27年4月4日

一般社団法人 鶴岡地区医師会
会長 三原 一郎

新入会員の紹介



氏名：山内 仁 紫
 生年月日：昭和28年7月18日
 生まれた所・育った所：鶴岡市
 勤務先・診療科目：山内循環器クリニック・循環器内科
 出身校：鶴岡南高等学校 日本医科大学
 趣味・特技：トランペット
 鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：どうぞよろしくお願ひいたします。

医師会 ニューフェイス

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと



- ① 小林 奈保子
- ② 総務課 一般職
- ③ 映画鑑賞
- ④ 一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



- ① 坂田 彩香
- ② 荘内地区健康管理センター 事業推進課 一般職
- ③ 旅行、テニス、ドラマ鑑賞
- ④ まだまだ未熟な私ですが、医師会職員として早く一人前になれるよう、日々成長していきたいです。



- ① 本間 真衣
- ② 荘内地区健康管理センター 健診課 保健師
- ③ フットサル
- ④ 地域医療に貢献していけるよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



- ① 粕谷 麻衣子
- ② 荘内地区健康管理センター 臨床検査課 臨床検査技師
- ③ 趣味：絵を描くこと、雑貨屋めぐり
特技：タイピング早打ち
- ④ 鶴岡地区医師会の職員として、少しでも貢献できますよう日々向上心を持って頑張っていきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。



- ① 五十嵐 美咲
- ② 荘内地区健康管理センター 臨床検査課 臨床検査技師
- ③ ソフトテニス
- ④ 精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。



- ① 渡部 遥
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院 診療部地域医療連携室相談係 兼退院調整支援係 社会福祉士
- ③ おいしいものを食べるにいくこと、旅行にいくこと
- ④ みなさんの名前を早く覚えられよう頑張ります!! これからよろしくお願ひ致します。



- ① 大滝 佑一
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 理学療法士
- ③ 球技、温泉巡り
- ④ 向上心を持ち、積極的に行動していきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。



- ① 御橋 壮人
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 作業療法士
- ③ 買い物
- ④ 一年目で未熟な部分が多いですが、元気に明るく、一生懸命患者様のためになる作業療法を提供できるようにがんばります。よろしくお願ひします。



- ① 斎藤 花菜
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院 リハビリテーション課 言語聴覚士
- ③ 野球観戦
- ④ 今まで身につけてきた知識や経験を生かして、早く一人前になれるよう、努力を惜しまず一生懸命に頑張りたいです。



- ① 高橋 奈々
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 准看護師
 ③ ウィンドーショッピング、テニス、
イラストを描く事、物作り
 ④ どんな時も自分らしく!! ユー
モアのセンスを日々極めながら、
患者さんといつも笑い合える様に
頑張りたいと思います。



- ① 清野 史果
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 准看護師
 ③ 読書
 ④ 早く仕事を覚え、コミュニ
ケーションを大切に頑張ります。



- ① 坂井 遥
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 介護福祉士
 ③ 映画鑑賞
 ④ 一日も早く仕事を覚えられる
よう頑張ります。



- ① 小野寺 亜衣
 ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
医事課 一般職
 ③ 写真、モトクロス観戦、プロ野球応援
 ④ 早く仕事を覚え、どんな時も
笑顔と気配りを忘れずに毎日頑
張ります。



- ① 斎藤 由利
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ 韓流ドラマ鑑賞
 ④ 初心忘れず、心機一転頑張り
ます。



- ① 本間 里子
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ お菓子作り
 ④ 初心を忘れず、頑張りたいと
思います。よろしくお願い致し
ます。



- ① 瀬尾 美紗子
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ バスケットボール
 ④ 大きな施設で働くのは初めてなので
初心に戻って仕事に励みたいです。少しで
も早く仕事を覚え皆さんの力になれたらと
思っているので、よろしく願います。



- ① 大川 知恵
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ おいしいお店を探すこと
 ④ 毎日笑顔で一生懸命がんばりま
す。よろしくお願い致します。



- ① 難波 寿美
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ カラオケ、ジグソーパズルや
ブロックで組み立てること
 ④ 気持ちを新たに頑張りたいと
思います。皆様からのご指導、ご
鞭撻よろしく願います。



- ① 菅原 聡人
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ 野球観戦、スポーツ(アーチェリー)、
ドライブ、旅行、動物とふれあう
 ④ 4年近く、病棟での介護業務をさせて頂い
てましたが、このたび初めて施設勤務となりま
した。未知の領域でわからないことや戸惑うこ
ともあるかもしれませんが、一生懸命頑張りた
いと思います。よろしくお願い致します。



- ① 佐藤 悠奈
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護福祉士
 ③ テレビを観ること
 ④ 元気に頑張りますので、よろ
しく願います。



- ① 齋藤 敦
 ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護員
 ③ サッカー
 ④ 一生懸命がんばりますので、
よろしく願います。



- ① ^{やま} ^だ ^ゆ ^か
山田 由佳
- ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護員
- ③ カラオケ、掃除した部屋で
まったり読書やDVD
- ④ 早く一人前になれるように日々
頑張っているし、人として成長
していきたいです。



- ① ^{もも} ^せ ^さ ^ち
百瀬 沙知
- ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護員
- ③ おいしい物を食べることに
興味があります。
- ④ マイペースな性格で沢山ご迷
惑をかけると思いますが、頑張
りたいと思います。よろしくお
願いします。



- ① ^{かめ} ^だ ^{のぞみ}
亀田 望
- ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護員
- ③ 旅行に行くこと、ドライブが
趣味です。
- ④ 4月からみずばしょうに配属になりま
した。旅行に行くこと、ドライブに行くこ
と、体を動かすことが好きです。一日も早
く仕事を覚えられるよう頑張りますので、
ご指導のほどよろしくお願い致します。



- ① ^と ^{もん} ^{ゆう} ^{へい}
土門 優平
- ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護員
- ③ 野球、テニス
- ④ これからは介護員として利用者
さんが気持ちよく過ごしてもらえ
るようがんばっていきたくと思
いますのでよろしくお願い致します。



- ① ^こ ^{みやま} ^{ふみ} ^か
小宮山 史果
- ② 地域包括支援センターつくし
社会福祉士
- ③ ライブ鑑賞、旅行
- ④ 一日でも早く皆様のお役に立て
るよう、精一杯がんばります。ど
うぞよろしくお願い致します。

プラセンすがわら わたしのお気に入り

以前にも別の記事で書かせてもらいましたが、ここ数年プラモデル制作が唯一の私の趣味になっており、それを楽しむために欠かせないお店があります。今回はお気に入りのお店ということで道形町にある「プラセンすがわら」をご紹介します。プラセンは鶴岡出身の方ならご存知でしょうが私の子供時代には宝町の住宅街にあり、よく父親に連れて行ってもらいました。当時（1970年代）はハセガワのたまごヒコーキシリーズやタミヤの有線リモコン戦車をよく買ってもらいました。今は息子さん（南校の同級生）が継いでおり、店舗も現在の場所に移転しかなり広がっています。以前はプラモデルやラジコン、モデルガンが主力商品だったと思いますが、今はそれ以外にもカードゲームやテレビゲーム（死語？）、キャラクター商品などが並んでおり鶴岡市内では唯一の品揃えを誇っています。最近のプラモデルは自分が小学生から中学生時代に作っていた物よりも相当進化しており非常に精密に出来ています。大きなスケールモデルだと高価なだけでなく、プラスチックパーツ以外にも金属性のエッチングパーツやABS樹脂パーツ、ゴムパーツなどが含まれており、昔のようにニッパーとプラ用接着剤のみではキチンと完成させることができません。プラセンさんにはそれを満たすための道具や塗料が揃っており、暇があればチョコチョコと通っています。最近老眼が入ってきて小さなパーツを組み立てるのが辛くなってきましたが、プラセンさんで買ったおでこに着けるルーペを使い制作に励んでいます。いつまで続けられるか分かりませんがご縁がある限り通いたいお店です。

（宮原病院 佐藤 孝司）



タミヤ 1/32 ヴォート F4U-1A コルセア

表 紙

「中山河川公園の桜」

三浦 二三夫

遊佐町直世、背景は雄大な鳥海山、清流洗沢川の左岸に約60本の見事な桜並木、お勧めの桜スポットです。昭和35年皇太子（今上天皇）御成婚記念として植えられたものです。

大体4月20日頃が満開で、この写真を撮ったのは4月27日で花吹雪と川面は花筏状態でした。すぐ近くには鮭の孵化場、幽玄の色を湛える丸池様があります。

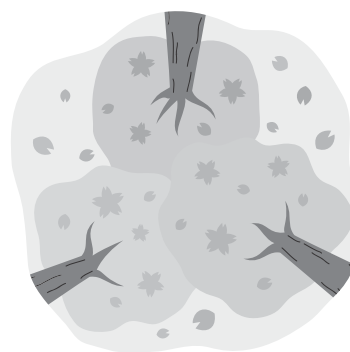
編 集 後 記

2015年も4月に入り、桜の季節となりました。鶴岡に戻り9年が経ちますが、今年は花粉症の患者さんが今までで最も多い印象です。庄内地区は花粉飛散が多いと予想されても、例年どおり今年も少ないだろうと思っていたので、従業員達もバテ気味です。これから学校健診も始まりますので、しばらくは忙しい日々と思われれます。さて、学校といえば新学期、事実上女子校だった創立118年の鶴岡北高に初めて男子生徒が1人入学し、話題となっています。159人中の1人という想像もつかない高校生活が始まると思いますが、頑張ってもらいたいです。

今月号の「めでいかすとる」は盛りだくさんな内容となっております。

島大先生のご逝去の報に接し、心より哀悼の意を表します。

(伊藤 茂彦)



編集委員：三浦 道治・福原 晶子・三科 武・斎藤 高志・中村 秀幸・伊藤 茂彦

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております [鶴岡地区医師会](http://www.tsuruoka-med.jp)  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>

印刷所：富士印刷株式会社 鶴岡市美咲町27-1 TEL 22-0936(代)